

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【公表番号】特表2009-536229(P2009-536229A)

【公表日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-040

【出願番号】特願2009-508197(P2009-508197)

【国際特許分類】

C 0 9 D 17/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 17/00

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年4月25日(2012.4.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) 3重量%～50重量%の少なくとも1種のカーボンブラックと、

b) 5重量%～35重量%の、塩化鉄(I I)の存在下でのニトロベンゼンとアニリンとの反応生成物の硫酸化及びこれに次ぐ中和によって得られる少なくとも1種の生成物とを含有する、水性カーボンブラック配合物であって、成分a)、b)および水性媒体を、90重量%より多く含むことを特徴とする水性カーボンブラック配合物。

【請求項2】

成分a)およびb)を、水性媒体中で共に均質化させることを特徴とする、請求項1に記載の水性カーボンブラック配合物の製造方法。

【請求項3】

請求項1に記載のカーボンブラック配合物と、

c) 脂肪族C₁～C₄アルコール、脂肪族ケトン、ポリオール、200～2000g/molのモル質量を有するポリグリコール、2-ピロリドン、N-メチルピロリドン、N-エチルピロリドン、1,3-ジメチルイミダゾリジノン、ジメチルアセトアミド、およびジメチルホルムアミドの群から選択される少なくとも1種の有機溶媒を含有する、水性インク。

【請求項4】

インクジェット法によって、シート状または3次元形状の基材に印刷するための、請求項1に記載のカーボンブラック配合物または請求項3に記載のインクの使用。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【0009】**

本発明は、従つて、
a) 少なくとも1種のカーボンブラックと、
b) 塩化鉄(II)の存在下でのニトロベンゼンとアニリンとの反応生成物からの、少なくとも1種の中和した硫酸化生成物と
を含有する水性カーボンブラック配合物を提供する。

【誤訳訂正3】**【訂正対象書類名】明細書****【訂正対象項目名】0012****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【0012】**

アシッドブラック2の硫酸化の程度は、好ましくは15重量%～25重量%の範囲にある。

【誤訳訂正4】**【訂正対象書類名】明細書****【訂正対象項目名】0014****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【0014】**

硫酸化は、好ましくは、硫酸、発煙硫酸、クロロスルホン酸、アミドスルホン酸、またはSO₃などの硫酸化剤を用いて行う。特に、95～97の温度における96%硫酸、または、特に0～20、好ましくは8～12の温度における5～30%発煙硫酸が好ましい。

【誤訳訂正5】**【訂正対象書類名】明細書****【訂正対象項目名】0015****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【0015】**

例えば、96%硫酸を用いる硫酸化は、好ましくは0.5～3時間、特に1～1.5時間を要するが、20%発煙硫酸を用いる硫酸化は、好ましくは12時間を要する。こうして得られる硫酸化生成物は次に中和される。

【誤訳訂正6】**【訂正対象書類名】明細書****【訂正対象項目名】0037****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【0037】****b) 硫酸化**

50L搅拌容器に16.3Lの96%硫酸を装入する。10kgのソルベントブラック7を、搅拌しながら少しづつ加える。